楽符 肆[4]

1.5 人のための楽符 風 - 弐[2]

「御柱の墓場　～ Grave of Being」
～Hard

2 台のピアノのための

「神さびた古戦場　～ Suwa Foughten Field」
～Hard

「御柱の墓場　～ Grave of Being」…… 2

「神さびた古戦場　～ Suwa Foughten Field」…… 6

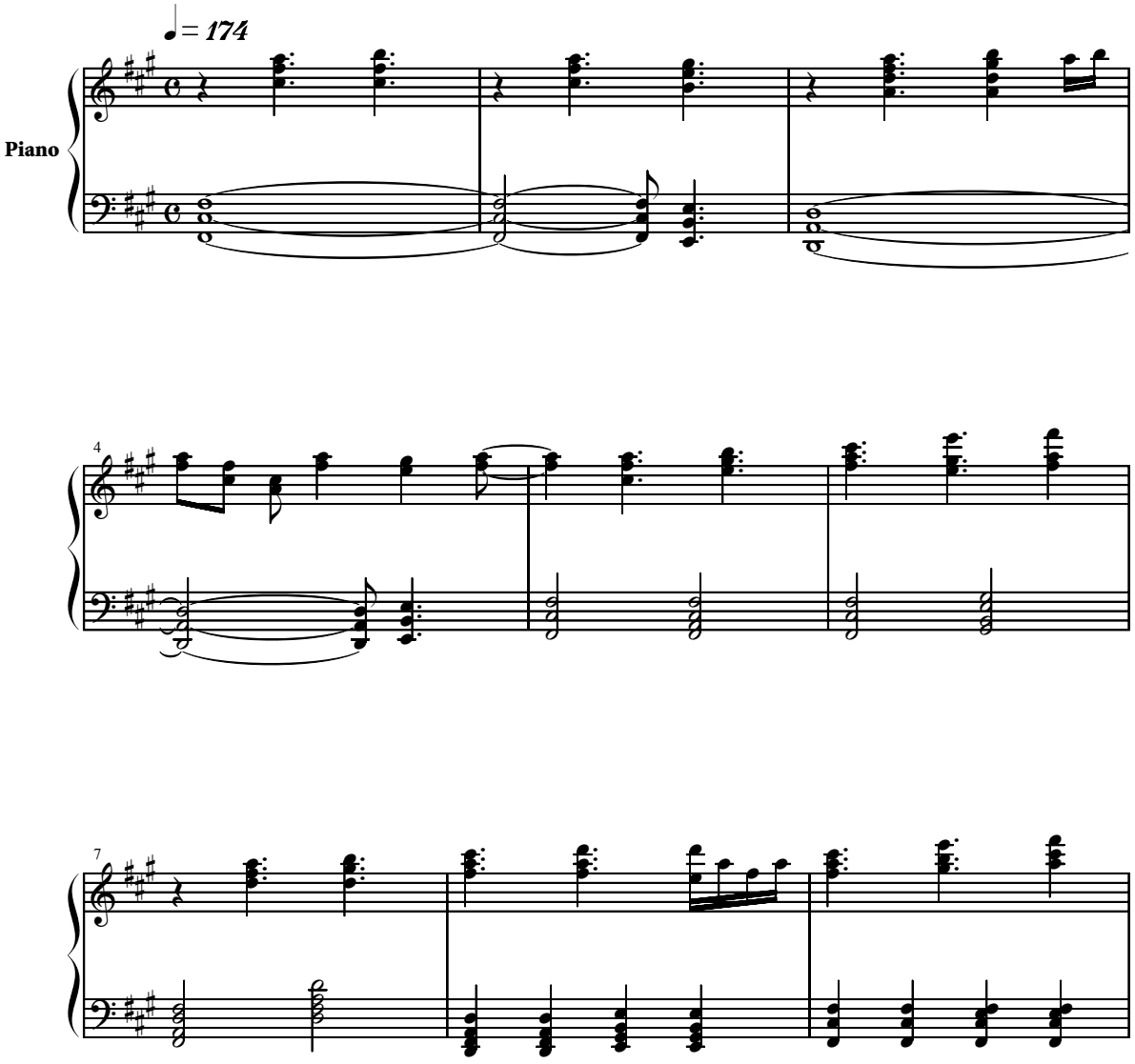
「あとがき」…… 20

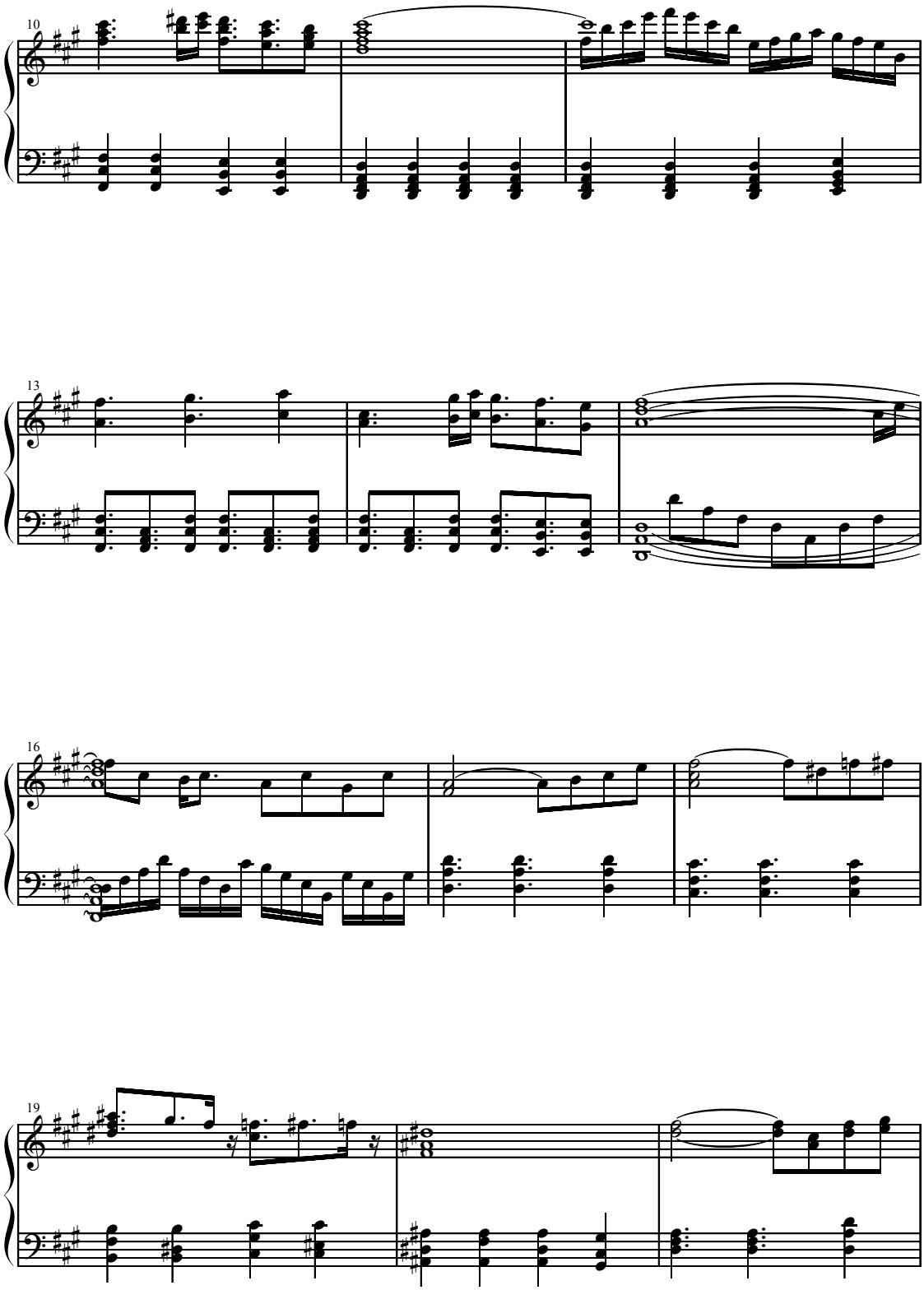
※この楽譜はコピー自由です。お使いの環境にあわせて、ご自由にどうぞ。

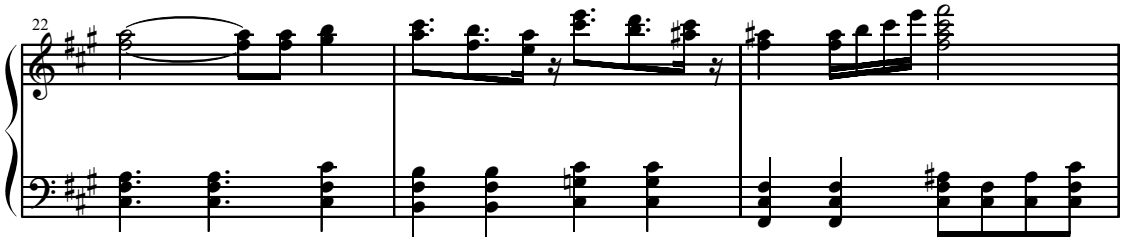
御柱の墓場 ～Grave of Being

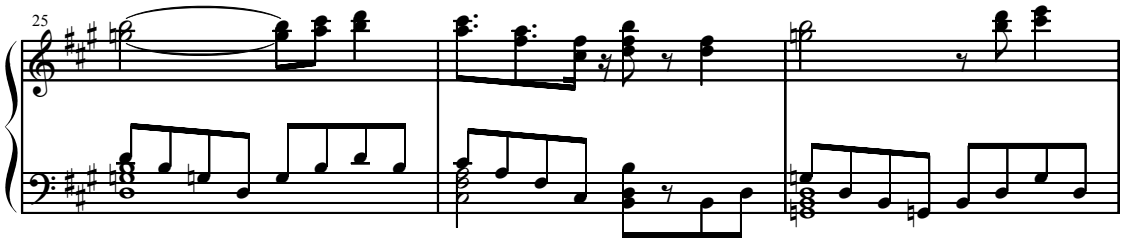
$

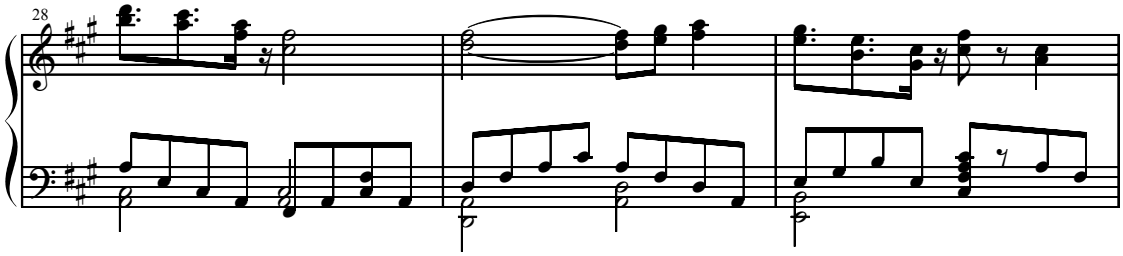
作曲:　ZUN
編曲:　みるく

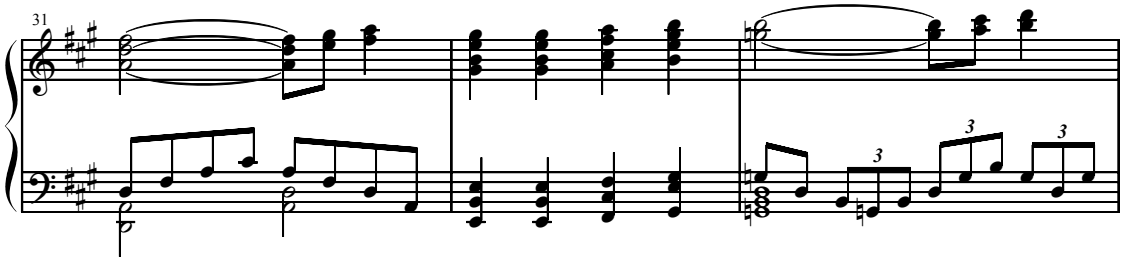


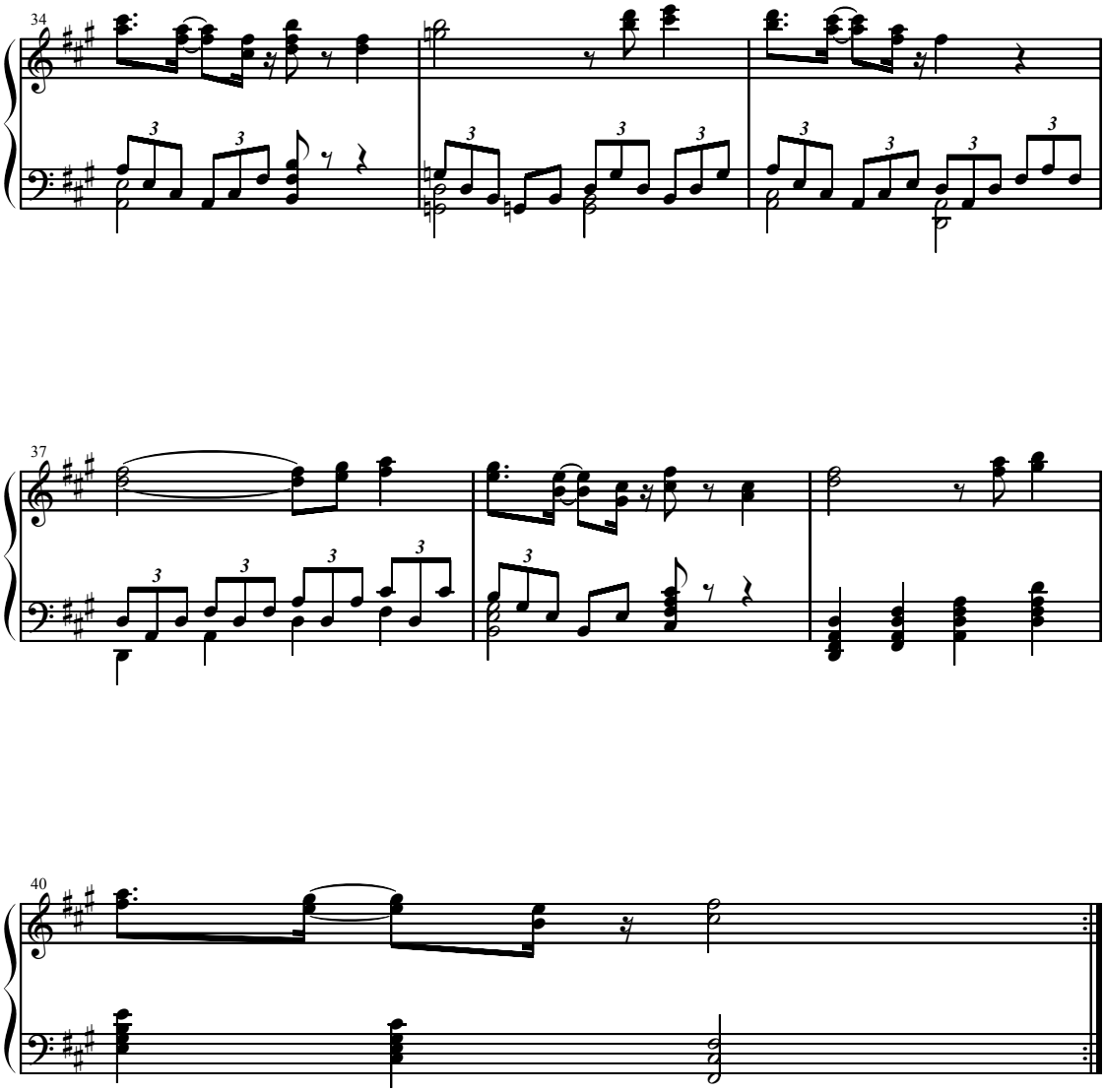



22


25


28

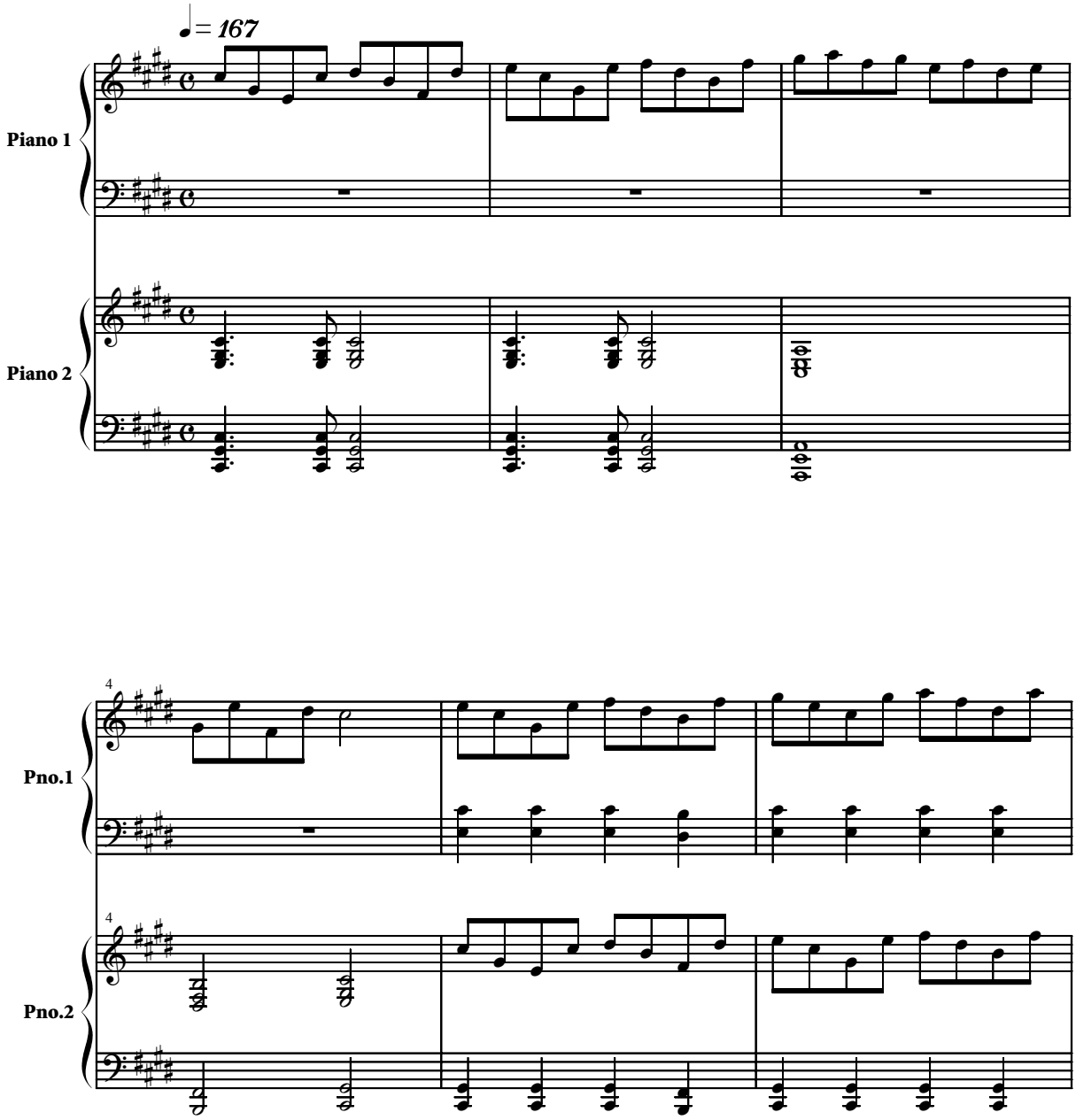

31
3
3
3

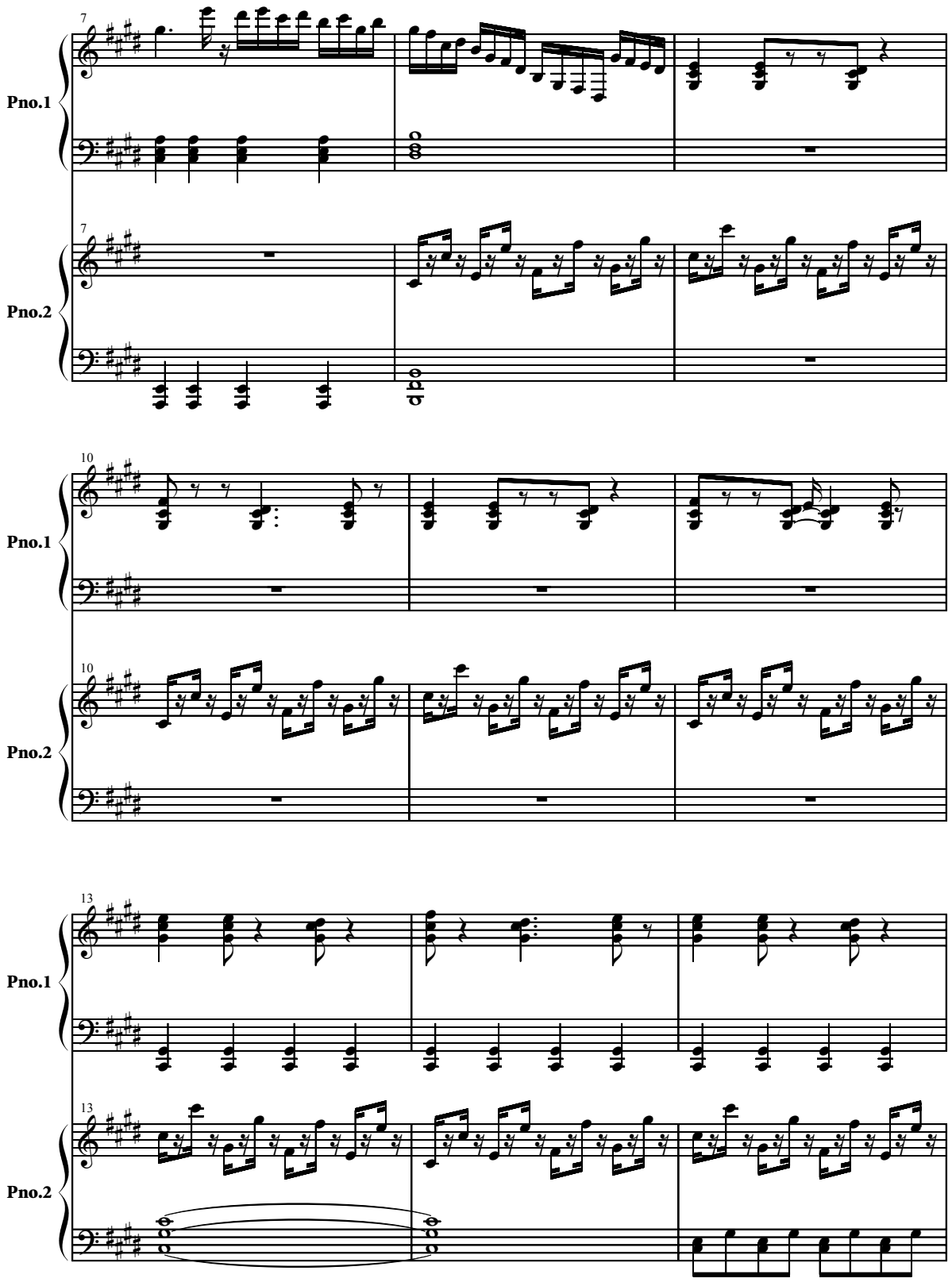

34
37
40

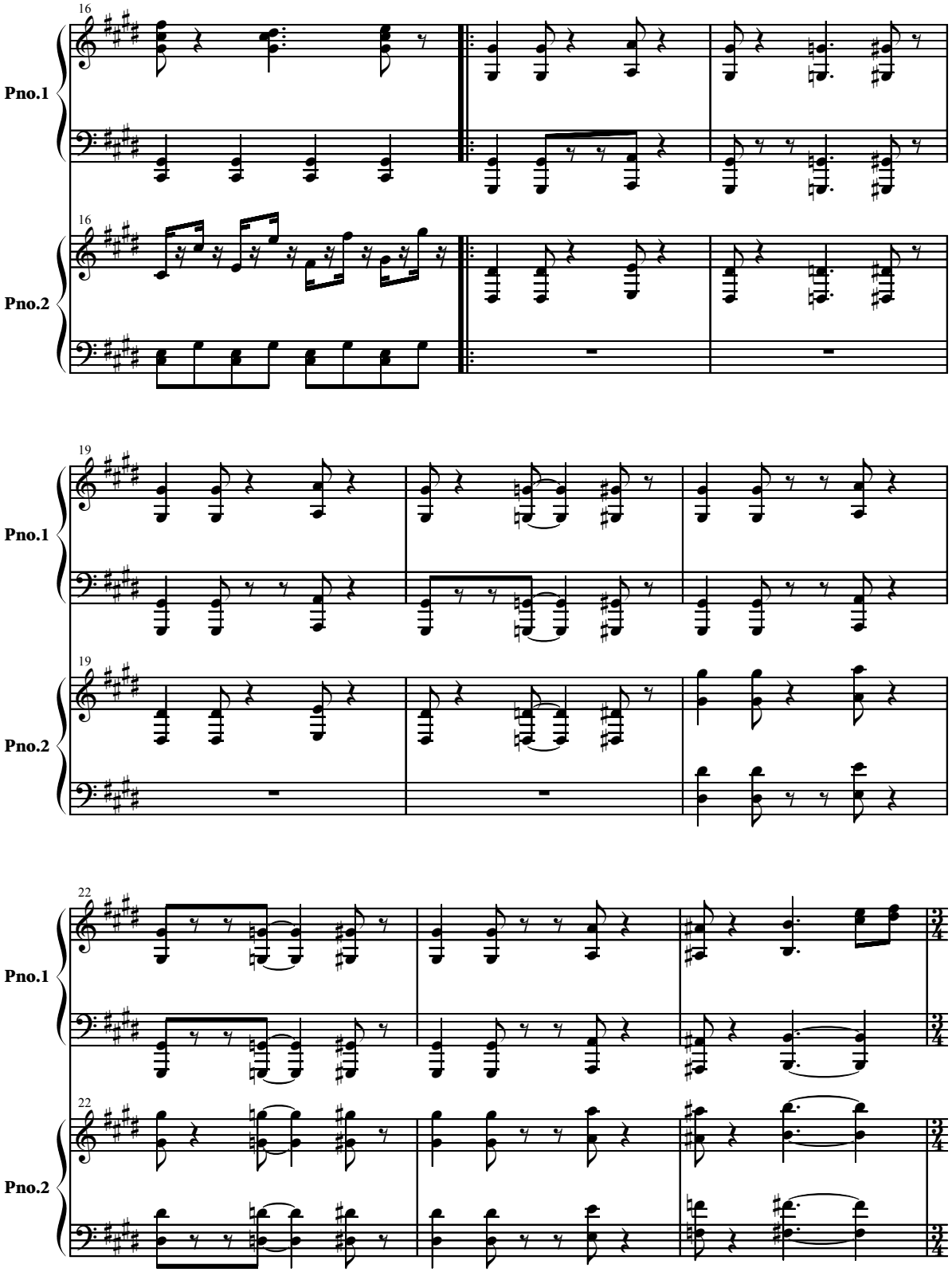
神さびた古戦場 ～Suwa Foughten Field

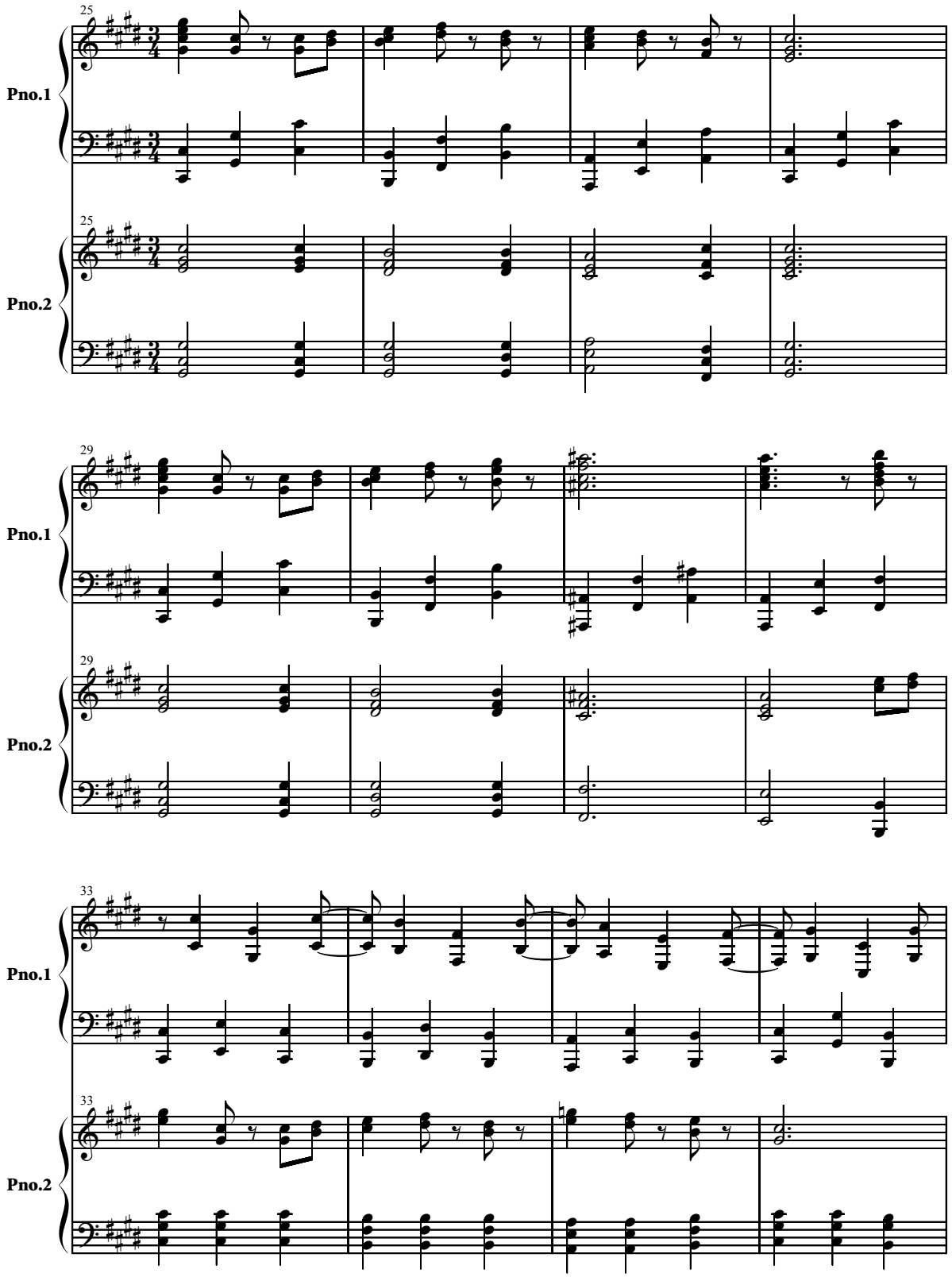
6

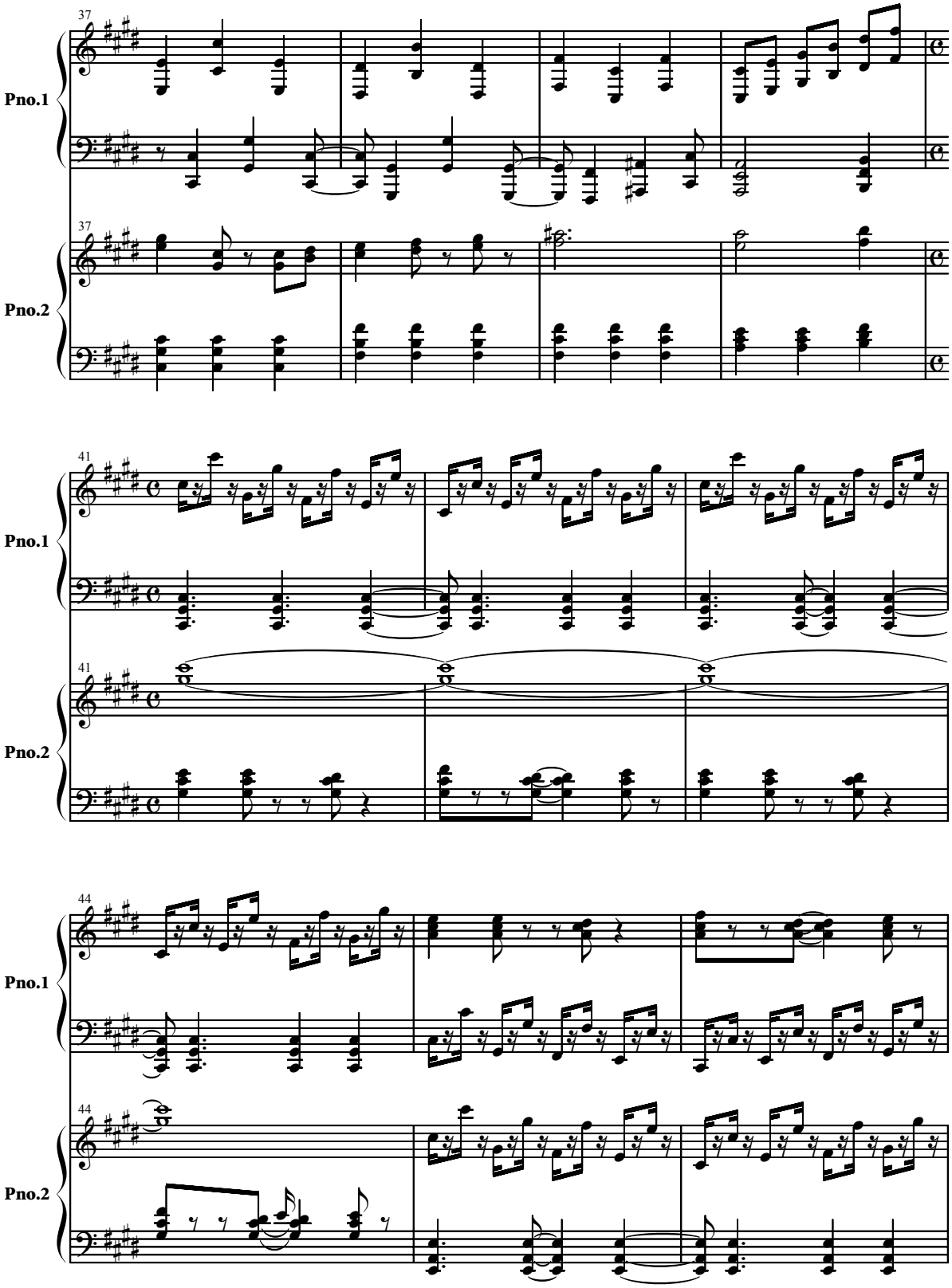
作曲: ZUN X $
編曲: みるく

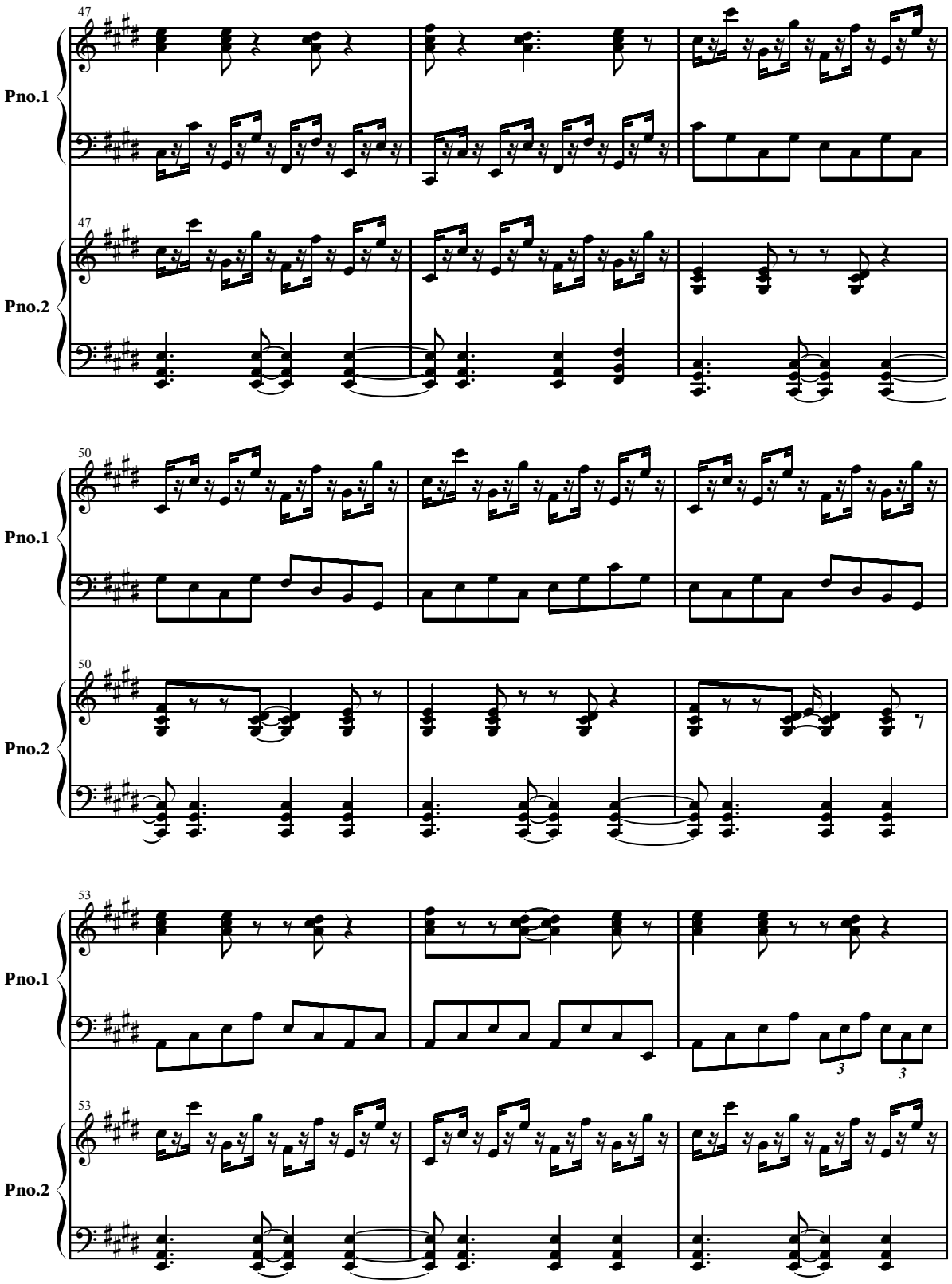


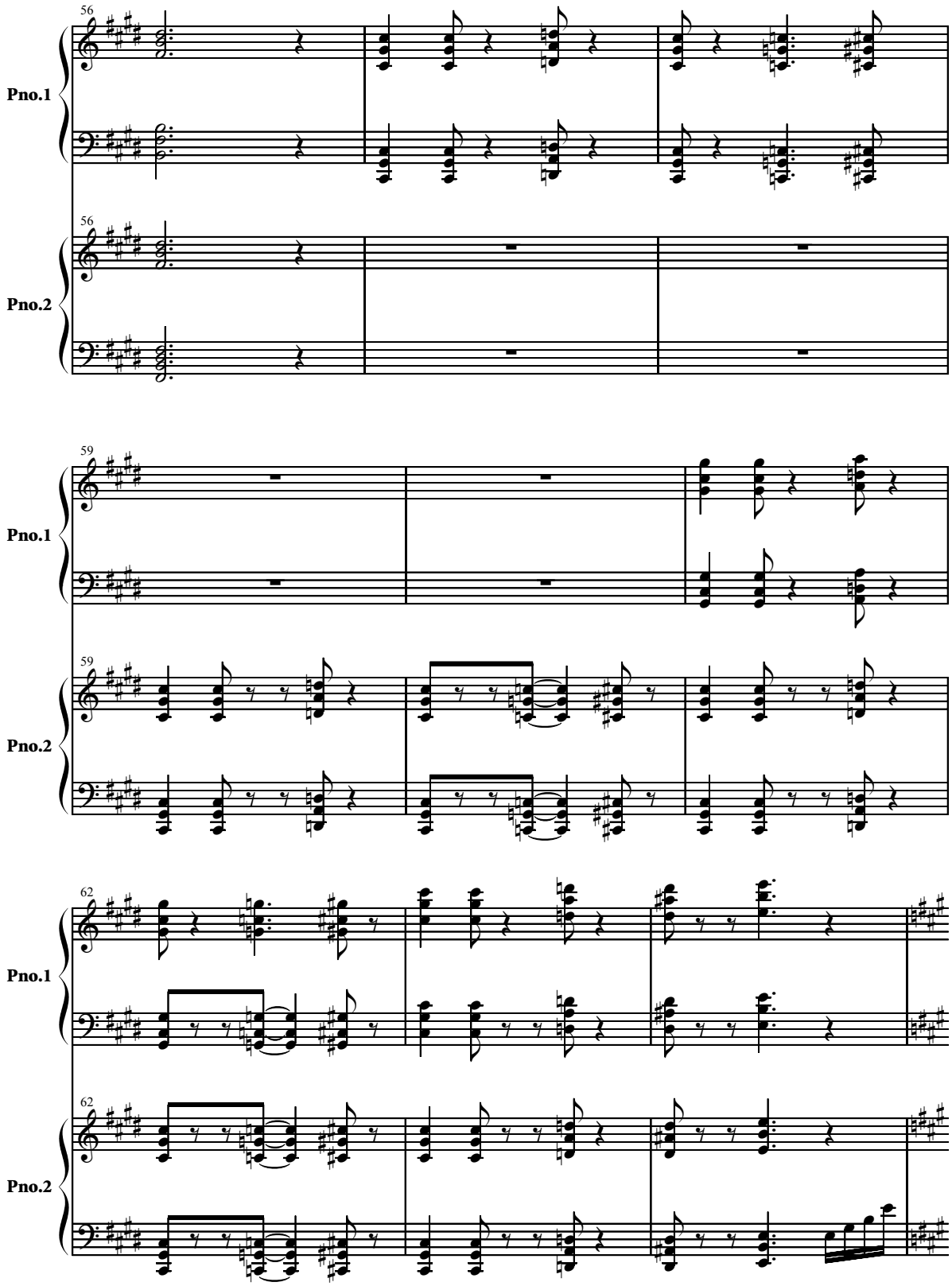

7
Pno.1
7
Pno.2
10
Pno.1
10
Pno.2
13
Pno.1
13
Pno.2

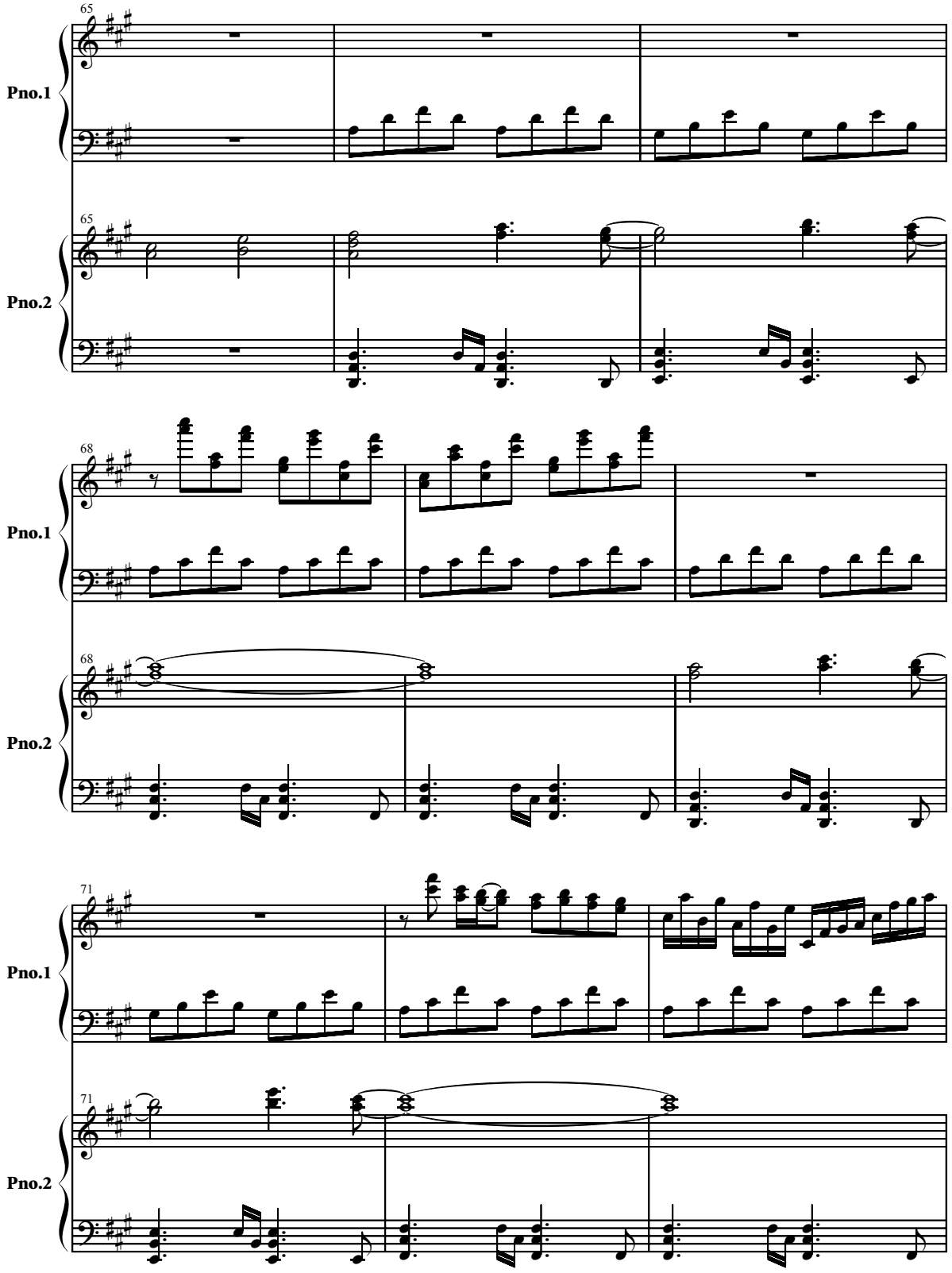

16
Pno.1
16
Pno.2
19
Pno.1
19
Pno.2
22
Pno.1
22
Pno.2

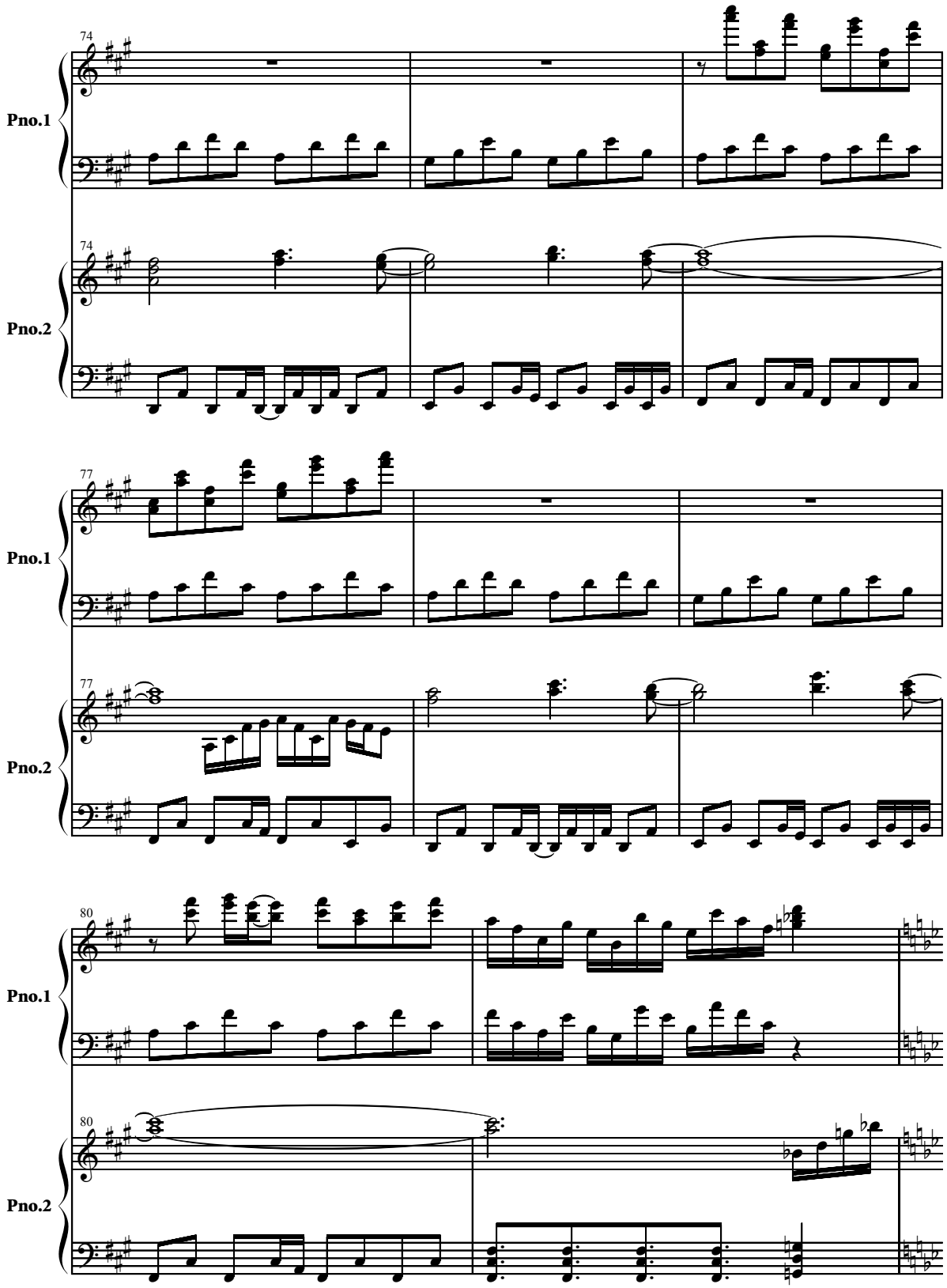

25
Pno.1
25
Pno.2
29
Pno.1
29
Pno.2
33
Pno.1
33
Pno.2

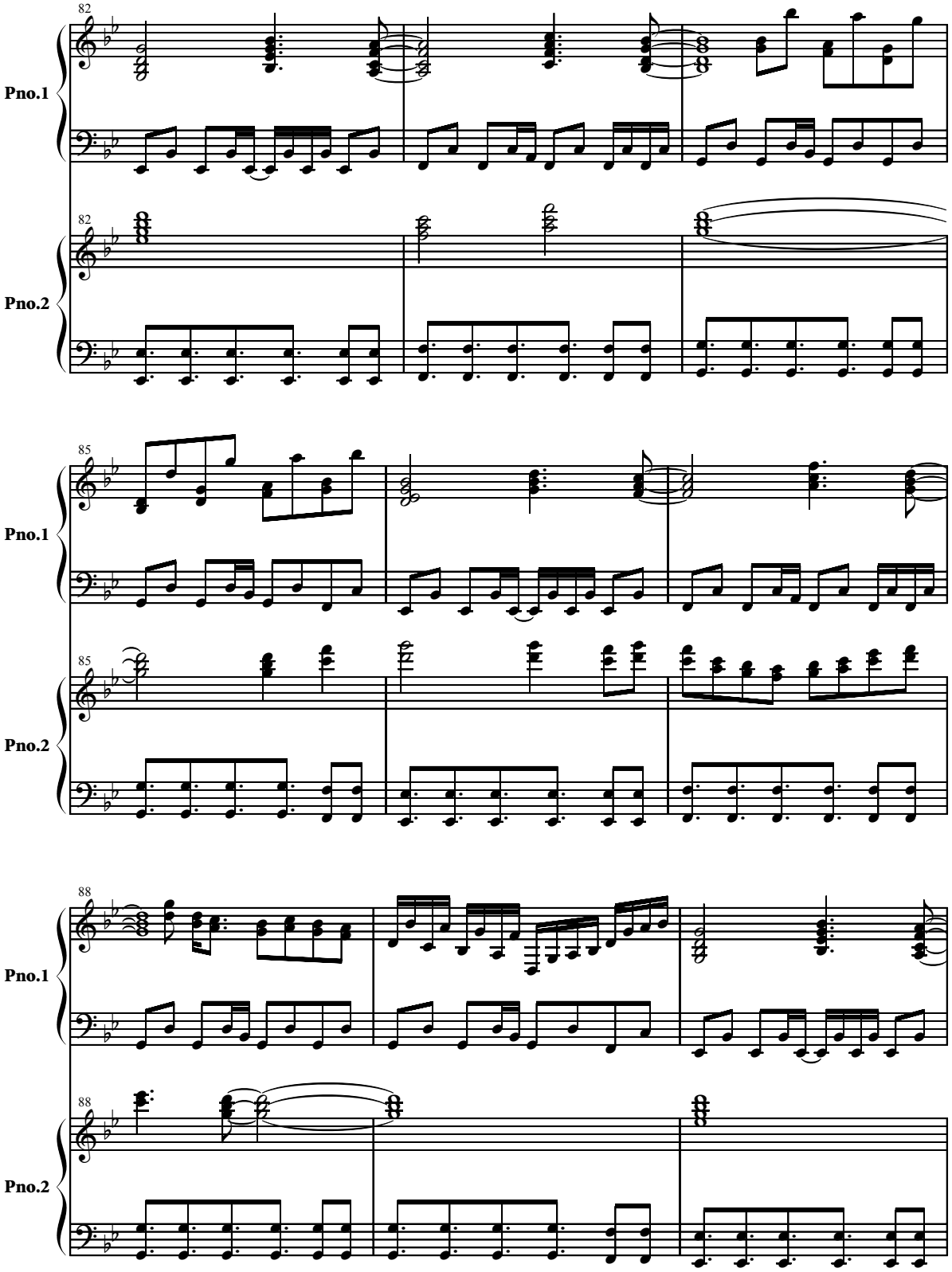

37
Pno.1
37
Pno.2
41
Pno.1
41
Pno.2
44
Pno.1
44
Pno.2

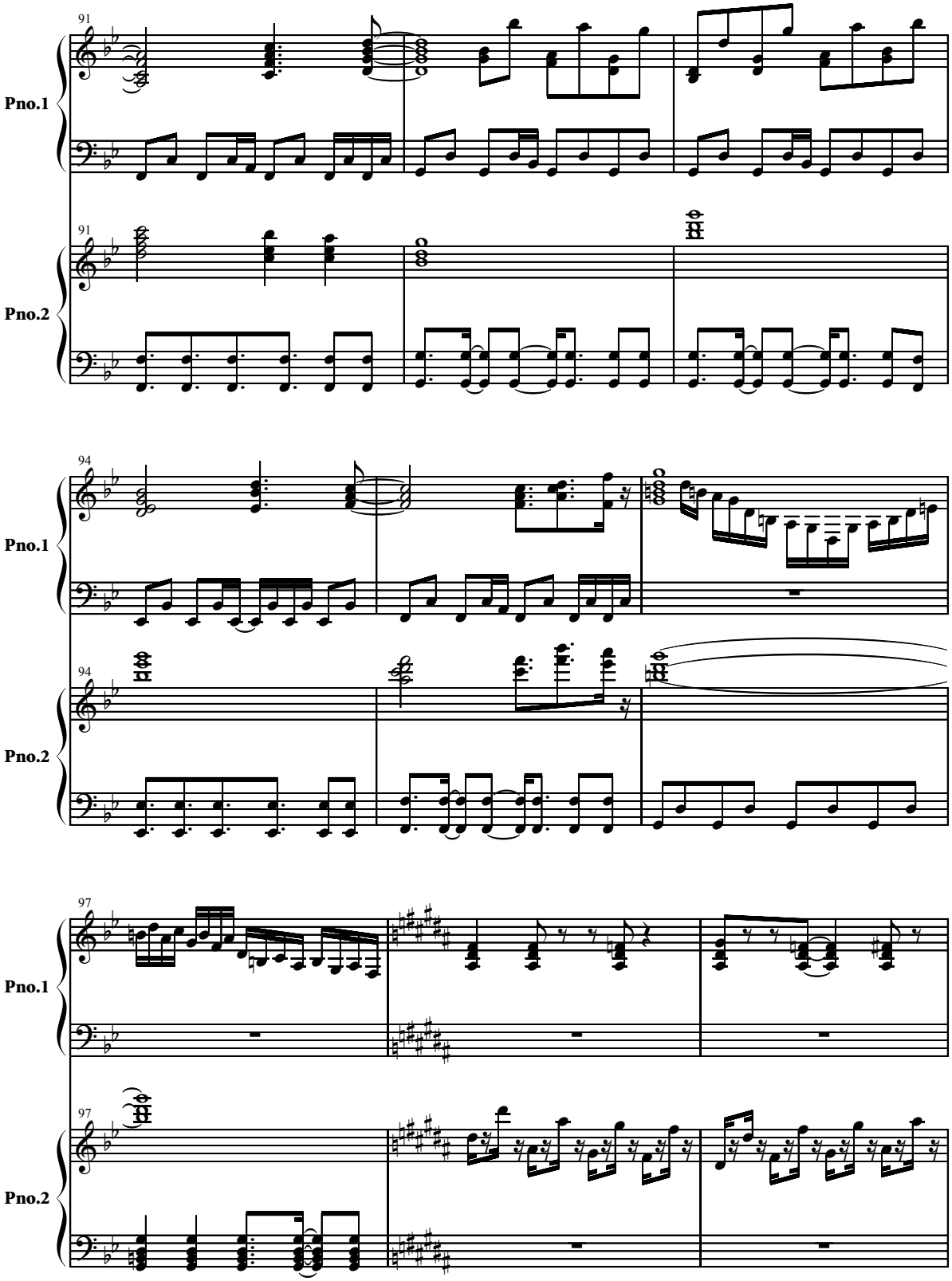

47
Pno.1
47
Pno.2
50
Pno.1
50
Pno.2
53
Pno.1
53
Pno.2

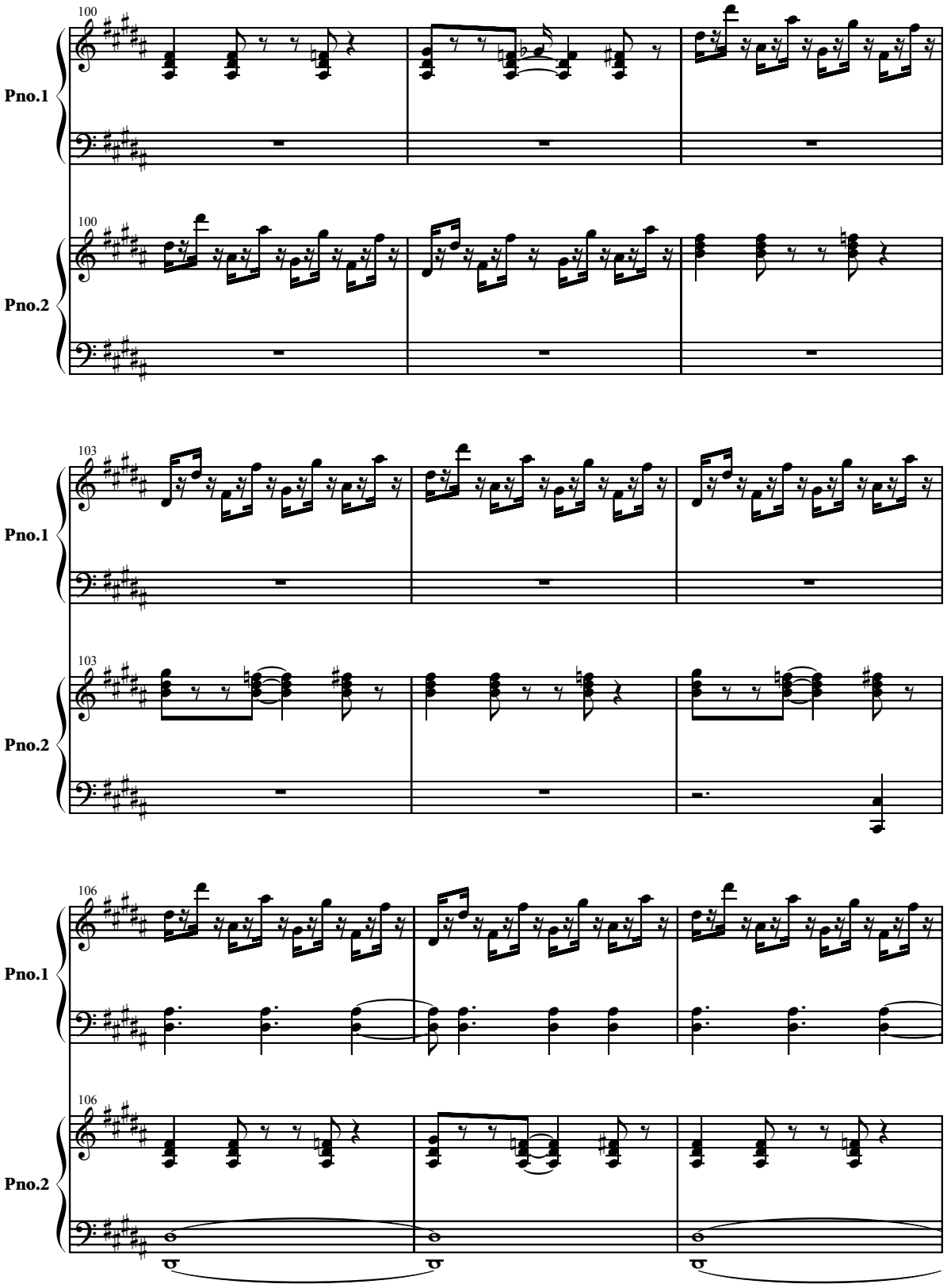

56
Pno.1
56
Pno.2
59
Pno.1
59
Pno.2
62
Pno.1
62
Pno.2

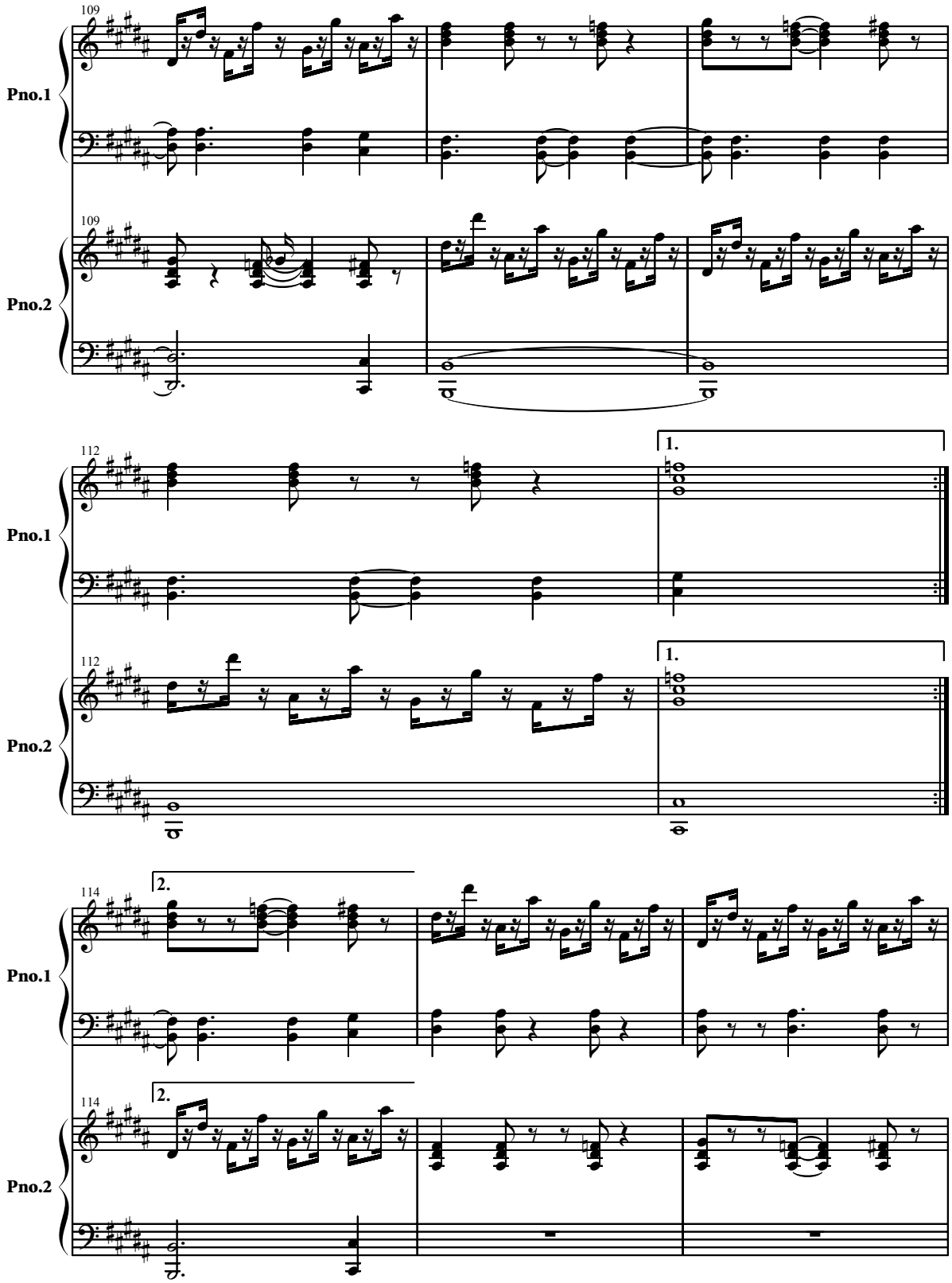

65
Pno.1
65
Pno.2
68
Pno.1
68
Pno.2
71
Pno.1
71
Pno.2

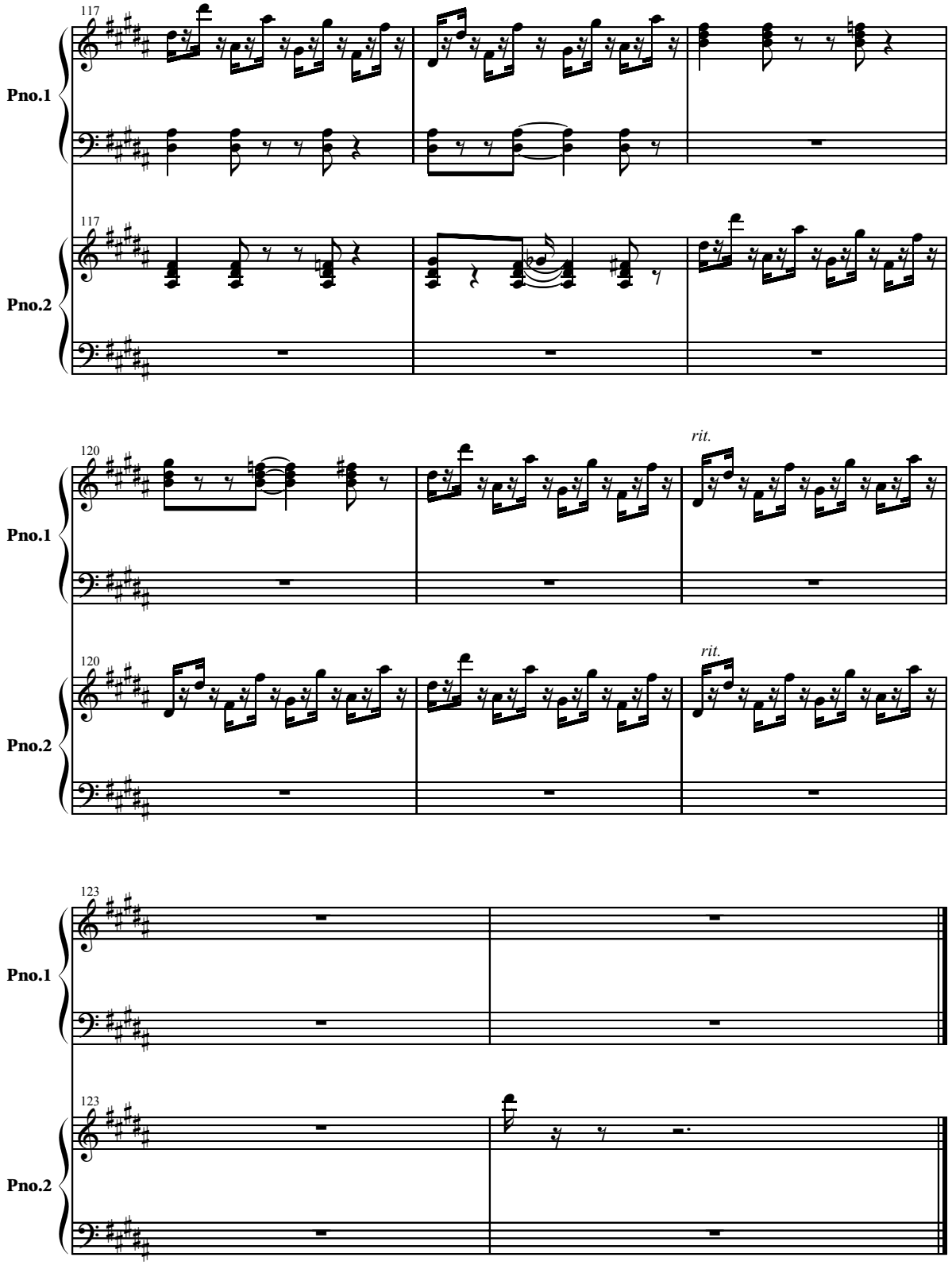

74
Pno.1
74
Pno.2
77
Pno.1
77
Pno.2
80
Pno.1
80
Pno.2


82
Pno.1
82
Pno.2
85
Pno.1
85
Pno.2
88
Pno.1
88
Pno.2


91
Pno.1
91
Pno.2
94
Pno.1
94
Pno.2
97
Pno.1
97
Pno.2


100
Pno.1
100
Pno.2
103
Pno.1
103
Pno.2
106
Pno.1
106
Pno.2


109
Pno.1
109
Pno.2
112
Pno.1
1.
112
Pno.2
1.
114
Pno.1
2.
114
Pno.2
2.


117
Pno.1
117
Pno.2
120
Pno.1
rit.
120
Pno.2
rit.
123
Pno.1
123
Pno.2

あとがき。

この本を手に取って頂いて、ありがとうございます。

まず始めに、冬コミでこの本を落としてしまい、申し訳ありません。
いろいろ理由はありますが、ひとえに私がサボってたせいなのは間違いありません。
なんとか 1 月にリベンジの機会を与えてもらい、無事刊行することができました。

最近はあまりの寒さと金欠っぷりに、家から一歩も出ない生活が続いています。
干からびるのも時間の問題かもしれませんね・・・。

以下、曲に関しての戯れ言。

1曲目：御柱の墓場
相変わらずの Hard な譜面を作ってしまいました。
短いループの曲なので、比較的楽でしたね。

毎回、作るときに困るのが「伴奏」です。
どの和音を割り当てて、どのように分散させるか、などといつも悩んでいます。
ZUN さんの曲は、結構難しい和音が多いので、いつも試行錯誤です。
自分で作ってて申し訳ないなぁと思うのが、右手と左手で全く違うテンポを刻むことが多いことで、マンネリ化しないようにそうしているわけなのですが、結果的に非常に難しくなってしまっています。

2曲目：神さびた古戦場
例によって二重奏になっています。
今回は、試験的に Piano1 と Piano2 で難易度を変えてあります。
Piano1 の方が、全体的に難しく、Piano2 は難易度を抑えめにしました。
まあ、それでも十分難しいと思いますが。

中盤部からは、メインメロディーが、原音よりも 1 オクターブ上の音になっているのですが、これには理由があります。
ピアノという楽器の特性上、たくさんの音が出ている状態では、中央部の音はあまり目立ちません。
そのため、1 オクターブ上げて、聞こえやすくしています。
結構長くてしんどかったんですが、音を加えてみたりして、楽しみながら作りました。
原曲にはない音をメロディーに追加したのがわかるでしょうか？

下記、前転受け身友の会 HP にて、楽譜から MIDI に演奏させた音源を置いておきます。
参考までに、「こんな感じなんや」と感じて頂けたら。

もし感想等を頂けたら、どのようなものであれ狂喜乱舞します。
「次はこんなんがいいな」とかブログにこっそり書いて頂けるだけで五体投地して喜びます。
よかったら、どこかに感想でも書いてやってください。

いつまでたっても作業が進まない私のケツをひっぱたきながら、温かく見守ってくれ、製本に至るまでの工程をいつも一手に引き受けてくれているカキヤ氏には、感謝してもしきれません。

それでは、貴方の耳に、心地よい音が吹きますように。

みるく

STAFF

制作総指揮・楽譜　みるく
表紙イラスト・装丁　カキヤザクロ

奥付

誌名：楽符肆 1.5人のための楽符 風 - 弐
発行日：2008 年 1 月 27 日　初版
2008 年 5 月 25 日 第2版
発行責任者：みるく
URL：http://www.zentomo.net/
E-mail:zentomo@gmail.com
印刷：北のプリント実験室

postscript & colophon